

# 令和4年度 実施事業一覧

交付額 237,458,000円

単位：円

No	担当課	経済対策との関係	予算書事業名	臨時交付金計画書記載事業名	事業概要	交付金充当実績額
1	協働のまち推進課	③-Ⅱ-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	特定家屋対策事業	空家等現況調査事業	空家等の状況を把握し、所有者に活用を働きかけ、都市部から地方移住を目的とした需要の取り込みに寄与する事を目的に空家等の現況調査を実施	3,000,000
2	総務課	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	感染防止対策事業	感染防止対策事業	小中学校やこども園、避難所及び高齢者施設などで新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる症状が発生した場合等に抗原検査キットを使用し、検査体制を強化することで感染者を早期に把握し、集団クラスターの発生を防ぎ、施設等の体制維持を図る。	5,280,000
3	産業観光課	③-Ⅱ-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	地域観光力向上事業	地域観光協会支援事業	コロナ禍により売上げ減少等影響を受けながらも各事業所は、前向きにアフターコロナを見据えた事業展開を行っているものの個人（個社）の取組みには限界がある。町内にある地域観光協会が事業主体となり、地域の実情を勘案し創意工夫を凝らした事業展開を行うために必要な経費の一部を補助金として交付	2,907,000
4	産業観光課	③-Ⅱ-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	地域観光力向上事業	地域観光力向上事業	DMOが保有する宿泊データを分析・活用し、吉野への来訪動向と感染状況に応じたエリア別誘客プロモーションを集中的に実施し、閑散期である冬季において宿泊者数を確保する。また、宿泊者に対し吉野独自の観光アプリによるスタンプラリーやクーポン機能の活用により観光客の周遊性を高め滞在時間を延ばすことで観光消費を生み出し、コロナ禍で疲弊する観光関連事業者の事業継続を支援する。	9,800,000
5	産業観光課	③-Ⅱ-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	観光プロモーション事業	観光プロモーション事業	長引くコロナの影響により生活様式が変化する中で、働き方も変化している。吉野の魅力を発信していくことで、ワーケーションへの取り組み、来訪客を増加させる。	25,890,000
6	産業観光課	③-Ⅰ-4. 事業者への支援	木のまちプロジェクト推進事業	木のまちプロジェクト推進事業	コロナ禍やウッドショックの影響により基幹産業である木材関連産業も大きな打撃を受けている。町内製材事業所が組合員である吉野製材工業協同組合が、吉野町木の新しい付加価値創造、事業転換等、アフターコロナを見据えた前向きな投資を行うにあたり、補助金を交付し地場産業の復活と発展による地域経済の活性化と雇用創造を後押しする。	2,000,000
7	産業観光課	③-Ⅱ-1. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開	生産性向上応援補助金事業	生産性向上応援補助金事業	事業者に対し国や県等の他の支援策に町独自の上乗せをして補助金を支給	4,800,000
8	教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興室	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	カヌー普及事業	カヌー普及事業	津風呂湖カヌー競技場施設を活用するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染予防設備等を設置	830,000
9	教育委員会 教育総務課	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	教育振興総務事業	吉野中学校修学旅行負担軽減事業	コロナ禍で実施の修学旅行において、観光バス及び宿泊施設での生徒間の密を避け感染拡大対策のためにかかった経費に交付金を充てることで保護者負担軽減を図る	550,000
10	教育委員会 教育総務課	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	教育振興総務事業	吉野小学校修学旅行負担軽減事業	コロナ禍において実施の修学旅行において、観光バス及び宿泊施設での生徒間の密を避け感染拡大対策のためにかかった経費に交付金を充てることで保護者負担軽減を図る	300,000
11	政策戦略課 広報公聴室	③-Ⅰ-3. 感染防止策の徹底	C A T V 運営事業	C A T V 運営事業	コロナ禍の状況で、講演会や集会・イベント開催など多数の参加者の密集を回避しながら、必要な行政情報を住民に伝えるために地域のケーブルテレビによる放送番組は有効な手段となっている。既存のテレビ中継設備を使いながら、ライブ配信や録画収録を少人数でより効率的に行えるよう、テレビ中継機能の強化を図るために放送設備を整備	0
12						

# 令和4年度 実施事業一覧

交付額 237,458,000円

単位：円

No	担当課	経済対策との関係	予算書事業名	臨時交付金計画書記載事業名	事業概要	交付金充当実績額
13	教育委員会 教育総務課	③-I-3. 感染防止策の徹底	こども園管理総務事業	こども園管理総務事業	新型コロナウイルスの影響から4月中旬以降で子供の感染が続き2日間学年閉鎖を余儀なくされた。ワクチン未接種であり、常時マスクの着用が難しい未就園児の安全安心を確保するため、2つのこども園に光触媒コーティングを実施	2,700,000
14	教育委員会 教育総務課	④-II. エネルギー・原材料・食料等安定供給対策	学校保健給食事業	学校保健給食事業	コロナ禍による物価上昇により食材高騰の上昇も予測される。その影響を受け学校給食費負担増も余儀なくされる中、子育て世帯への負担軽減を目的とし学校給食費を無料とする	7,032,900
15						
16	総務課 デジタル推進室	③-I-3. 感染防止策の徹底	デジタル化推進事業	申請書オンライン化推進事業	町民と職員双方のコロナ対策を一層向上させることを目的に、申請のオンライン化を庁内全体で実現させるため、庁内申請書の棚卸を行い、コロナ対策に効果的なオンライン化へ優先順位を決め、次年度以降のオンライン化の実現につなげる	0
17						
18	総務課 デジタル推進室	③-I-3. 感染防止策の徹底	デジタル化推進事業	庁内L G W A N無線化事業	職員のコロナ対策を一層向上させることを目的に、現在有線LANで構築しているネットワークを無線化し、職員の業務場所の拡大を図るとともに、事務の効率化を図る	4,000,000
19	総務課 デジタル推進室	③-I-3. 感染防止策の徹底	デジタル化推進事業	スマホ決済コンビニ納付拡充事業	コロナ対策をより一層推進することを目的に、現在スマホ決済・コンビニ納付対応している税・国保・水道に介護保険料・後期高齢者医療保険料・住宅使用料を追加しサービスの拡充を図る。また、町民の利便性と職員事務効率化も併せて向上させる	8,000,000
20						
21	産業観光課	③-I-4. 事業者への支援	木のまち吉野再構築推進事業	木のまち吉野再構築推進事業	地元製材業者で組織する吉野製材工業協同組合では、組合員の事業者から半製品の製材を仕入れ、製品市での競り売りを行っている。長引くコロナの影響により三密を避けるため、製品市での競り売りによる販売形態が非常に厳しい状況である。新規販売先の確保を目指し、仕上げ加工を行うことにより、付加価値販売を目指すとともに、新規市場開拓（工務店、設計施工事業者、DIYユーザー）を行うことで、吉野材の魅力再発見と事業再構築を進める	13,500,000
22	町民税務課	③-I-5. 生活・暮らしへの支援	物価高騰等対策商品券交付事業	物価高騰等対策商品券交付事業 (通常分)	コロナ禍での物価・原油価格高騰に直面する町民に対し共通商品券を給付する。本事業はあくまでも物価・原油価格上昇に対する生活支援に主眼を置いている為、町民の消費行動状況を考慮し、全国で利用できる共通商品券を配布	45,791,100
23	町民税務課	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援		物価高騰等対策商品券交付事業 (物価高騰分)	コロナ禍での物価・原油価格高騰に直面する町民に対し共通商品券を給付する。本事業はあくまでも物価・原油価格上昇に対する生活支援に主眼を置いている為、町民の消費行動状況を考慮し、全国で利用できる共通商品券を配布	47,161,000
24	町民税務課	④-IV. コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援		物価高騰等対策商品券交付事業 (重点交付金分)	コロナ禍での物価・原油価格高騰に直面する町民に対し共通商品券を給付する。本事業はあくまでも物価・原油価格上昇に対する生活支援に主眼を置いている為、町民の消費行動状況を考慮し、全国で利用できる共通商品券を配布	40,832,000

# 令和4年度 実施事業一覧

交付額 237,458,000円

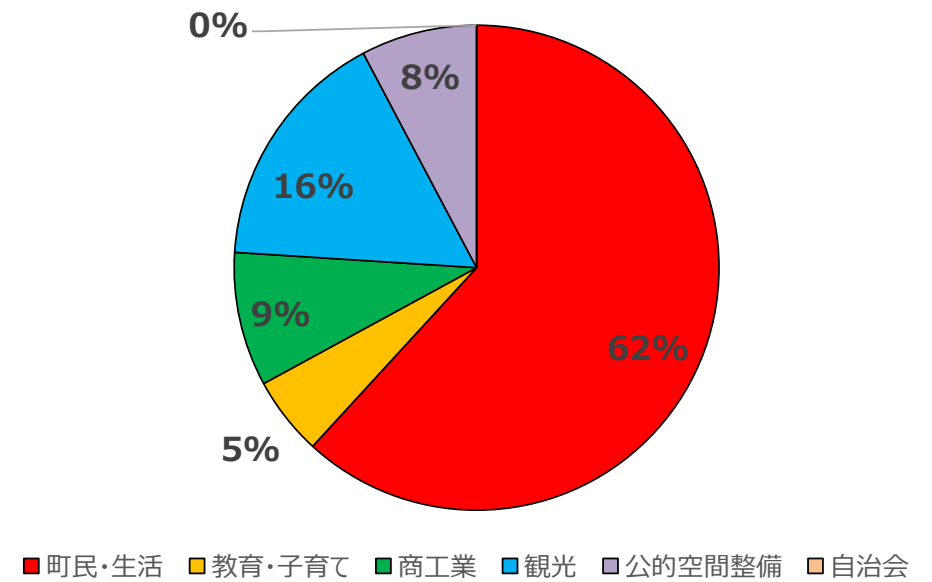
単位：円

No	担当課	経済対策との関係	予算書事業名	臨時交付金計画書記載事業名	事業概要	交付金充当実績額
25	教育委員会 教育総務課	③- I - 3. 感染防止策の徹底	学童保育事業	学童保育事業	新型コロナウイルス感染症の児童・生徒での感染が相次ぐ状況の中、夏休みに入り、学童利用者は平時に比べ増加している。基本的な感染対策は実施しているものの、猛暑のため室内で過ごす子どもが多く、蜜となる機会が増えている。子ども達の安全安心及び保護者の不安を解消するため、施設内等の抗菌処理を施す。	890,000
26	政策戦略課 広報公聴室	③- I - 3. 感染防止策の徹底	C A T V 運営事業	C A T V 感染対策機器整備事業	町民への情報発信として重要なケーブルテレビであるが、スタジオ及び調整室（編集室）は窓がなく換気設備が十分ではない密閉空間となっている。コロナ禍においても情報発信基地として活用するにあたり感染予防機材設置は急務である。密閉空間となるスタジオ及び調整室での活用でウイルス飛沫拡散・感染対策を講じる	264,000
27	長寿福祉課	④- I . 原油価格高騰対策	老人保護措置等事業	老人保護措置等事業	コロナ過での原油価格高騰による車両燃料費負担増に対し、介護サービス事業所に事業継続支援として、車両燃料費高騰相当額（1年分）を補助	916,000
28	長寿福祉課	④- I . 原油価格高騰対策	障害福祉総合事業	障害福祉総合事業	コロナ過での原油価格高騰による車両燃料費負担増に対し、障害サービス事業所に事業継続支援として、車両燃料費高騰相当額（1年分）を補助	18,000
29	協働のまち 推進課	③- I - 5 . 生活・暮らしへの支援	地域公共交通活性化事業	デジタル田園都市国家構想推進交付金	コロナウイルス感染対策としてオンデマンドバス交通システムを活用し、利用者の要望に応じて運行ルートやダイヤを設定、小型車両での乗合運行が可能となり、密を避けつつ住民サービス向上を図る為に迅速に実装する。また地域外の利用者に対しても二次交通の利便性向上を同時に図る。	10,000,000
30	長寿福祉課	③- I - 1 . 医療提供体制の強化	予防接種事業	疾病予防対策事業費等補助金	コロナ禍においても適切に対象者（昭和37年度～昭和53年度生まれ男性）に風しん抗体検査を実施し、必要に応じて予防接種を行う。	17,000
31	長寿福祉課	③- I - 5 . 生活・暮らしへの支援	市町村母子保健事業	地域少子化対策重点推進交付金	H29.12より母子健康手帳アプリを利用し、子育て世帯に対し支援・事業を実施しているが、コロナ禍においても利用者満足度向上を図る為、多言語化・子育て情報をはじめ、予防接種スケジュール自動作成・管理及び月齢に応じた情報発信等を実施し、支援情報配信力を強化する。	79,000
32	教育委員会 教育総務課	③- I - 3 . 感染防止策の徹底	吉野小学校事業	学校保健特別対策事業費補助金	吉野さくら学園（吉野小・中学校）で新型コロナウイルス感染症感染が疑われる症状が発生した場合等に抗原検査キットを使用し、検査体制を強化することで感染者を早期に把握し集団クラスターの発生を防ぎ、教育体制維持を図る。	900,000
33	長寿福祉課	④- I . 原油価格高騰対策	吉野広域行政組合民生費負担金	介護サービス事業所・施設における光熱費等高騰対策一時支援事業	新型コロナウイルス感染症による光熱費・燃料費等高騰の影響を受けている介護サービス事業所・施設が継続的・安定的にサービスを提供できるよう支援する。	0
合計						237,458,000

## 令和4年度 充当実績割合

交付決定額
237,458,000

カテゴリー	シェア	交付金充当額
町民・生活	61.8%	146,801,100
教育・子育て	5.2%	12,451,900
商工業	8.9%	21,234,000
観光	16.3%	38,597,000
公的空間整備	7.7%	18,374,000
自治会	0.0%	0



## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	特定家屋対策事業	担当課室名	協働のまち推進課
-------	----------	-------	----------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
空家等現況調査事業	予 定	空家等の状況を把握し、所有者に活用を働きかけ、都市部から地方移住を目的とした需要の取り込みに寄与する事を目的に空家等の現況調査を実施
	実 績	中心市街地の上市及び吉野地区の一部(飯貝)を中心に、その他緊急性の高い空き家等の現況調査を実施した。また、7年前にシステム化した空き家現況調査のデータベースの改修により、現況にあった情報管理ができるよう更新を行った。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
空家の調査件数	件		500	-	-	-
			228			

### 住民への周知方法

計 画	HP、広報誌掲載	実施内 容	現況調査の実施にあたり、調査地区に事前に回覧板で情報周知
		課題	調査に関して問い合わせや苦情等はなかった。

### 成果と課題

成果	課題
調査実施地区である中心市街地の上市及び吉野地区の一部(飯貝)における空き家の状態について把握することが出来た。	活用可能な空き家の所有者に利活用について促す必要があるが、いかにしてアプローチするのが効果的か検討する必要がある。

### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
継続 (同規模)	令和5年度も引き続き現況調査を実施する予定

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	感染防止対策事業	担当課室名	総務課
-------	----------	-------	-----

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
感染防止対策事業	予定	小中学校やこども園、避難所及び高齢者施設などで新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる症状が発生した場合等に抗原検査キットを使用し、検査体制を強化することで感染者を早期に把握し、集団クラスターの発生を防ぎ、施設等の体制維持を図る。
	実績	小中学校・こども園においては早期に感染者を把握することができ、クラスターの発生を防ぐことが出来た。 高齢者施設においても早期に感染者を把握し隔離することで、クラスターの発生を防ぐだけでなく、業務継続が出来た。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
クラスター発生件数	件		0	-	-	-
			0			

### 住民への周知方法

計画	感染状況により HP、広報誌掲載	実施内容	町HP及び町公式LINE等による抗原検査キットの活用方法等の周知
		課題	抗原検査キットの配布方法については、先着順といった形式であったため、配布対象の絞り込みが必要

### 成果と課題

成果	課題
広く抗原検査キットを活用し、コロナ禍においても活動自粛を最小限にとどめることができた	今後の感染症の動向により対策内容は柔軟的に対応する必要がある。

### 方向性判断 (コロナ臨時交付金がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
継続 (縮小)	5類相当への変更も検討されていることから、国の指針を見定めてから判断する。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	観光力向上事業	担当課室名	産業観光課
-------	---------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
地域観光協会支援事業	予定	コロナ禍により売上げ減少等影響を受けながらも各事業所は、前向きにアフターコロナを見据えた事業展開を行っているものの個人（会社）の取組みには限界がある。町内にある地域観光協会が事業主体となり、地域の実情を勘案し創意工夫を凝らした事業展開を行うために必要な経費の一部を補助金として交付
	実績	・桜のライトアップ、紅葉のライトアップ、鬼ノ森in吉野山2023（吉野山観光協会） ・くらすの杜マルシェ、影絵上映（国栖の里観光協会） ・津風呂湖開湖60周年記念事業（津風呂湖観光協会）

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
年間入込客数	人		400,000	-	-	-
			615,000			

#### 住民への周知方法

計画	事業主体の各観光協会が、HP・広報紙・SNS等を活用	実施内容	各観光協会がイベント毎にチラシを作成。各団体のHPやSNS等で発信を行った。
		課題	住民への周知方法として、こども園や吉野さくら学園にも広報する必要がある。

#### 成果と課題

成果	課題
各観光協会が創意工夫をイベントを開催した。コロナ禍で、一定の集客はあったがもう少し来場者を増やす工夫ができたのではない。	イベント広報の方法に課題を感じる。チラシでの発信も大切であるが、チラシを置く場所、配布先をしっかりとターゲットを絞る必要がある。

#### 方向性判断（コロナ臨時交付金がないケースも含めた必要性・方向性）

判定	コメント
継続（縮小）	各種団体への助成は、地域経済を活性化させるためにも必要ではあるが、助成額については縮小の方向で検討していく。

### 臨時交付金計画書記載事業②

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
地域観光力向上事業	予定	DMOが保有する宿泊データを分析・活用し、吉野への来訪動向と感染状況に応じたエリア別誘客プロモーションを集中的に実施し、閑散期である冬季において宿泊者数を確保する。また、宿泊者に対し吉野独自の観光アプリによるスタンプラリーやクーポン機能の活用により観光客の周遊性を高め滞在時間を延伸することで観光消費を生み出し、コロナ禍で疲弊する観光関連事業者の事業継続を支援する。
	実績	誘客プロモーションの実施。旅行代金の割引。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
宿泊者数	人		14,500	-	-	-
			30,700			

#### 住民への周知方法

計画	事業主体となる吉野VBが、SNS・HP等の電子媒体を主に活用してターゲットを定めて周知	実施内容	WEBページの製作と、SNS広告配信をおこなった。
		課題	ビューローのHPの認知度を向上させる必要がある。

#### 成果と課題

成果	課題
クーポン利用により、22,625千円の経済効果を生み出した。OTAの予約実績については前年比197%増。	交付金が無くなると本事業はできない。

#### 方向性判断（コロナ臨時交付金がないケースも含めた必要性・方向性）

判定	コメント
完了	交付金無しでは事業継続できない。コロナで落ち込んだ観光事業者支援のための一時的な事業。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	観光プロモーション事業	担当課室名	産業観光課
-------	-------------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要
観光プロモーション事業	予定 長引くコロナの影響により生活様式が変化する中で、働き方も変化している。吉野の魅力を発信していくことで、ワーケーションへの取り組み、来訪客を増加させる。
	実績 コロナ禍で落ち込んだ観光客の誘致、および吉野町の魅力発信のため有名女優を使った電子書籍、冊子、動画の制作を行った。また、地域の人にスポットを当て、継続的に使用できるプロモーション動画も作成した。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
年間入込客数	人	409,000	615,000	600,000	-	-

### 住民への周知方法

計画	実施内容	実施内容
		課題
HP・広報紙・SNS	広報で紹介。SNSで発信。プレスリリース等でのメディアでの取り扱い。	
	動画を見た人がどれだけ来訪したかなどの効果検証を行う必要がある。	

### 成果と課題

成果	課題
電子書籍、動画、冊子	動画を見た人、パンフレットを見た人がどれだけ地域に来訪し、どれだけの効果があったか検証が必要。

### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	動画作成は現状の観光事業者を支援するためのPR活動と、完成品については今後の観光客誘致に使用していく。



## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	木のまちプロジェクト推進事業	担当課室名	産業観光課
-------	----------------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
木のまちプロジェクト 推進事業	予定	コロナ禍やウッドショックの影響により基幹産業である木材関連産業も大きな打撃を受けている。町内製材事業所が組合員である吉野製材工業協同組合が、吉野貯木の新しい付加価値創造、事業転換等、アフターコロナを見据えた前向きな投資を行うにあたり、補助金を交付し地場産業の復活と発展による地域経済の活性化と雇用創造を後押しする。
	実績	吉野材PRに向けて、吉野杉の家PRやイベントでの吉野材出展、また、木材関係者による対談形式のダイアログの実施など、様々な事業を実施できた。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
売上高(11月決算)	千円		-	-	96,600	-

### 住民への周知方法

計画	事業主体となる吉野製材工業協同組合が、HP・SNSを中心に周知	実施内容	町HPや広報等で情報発信を行う。
		課題	上記以外の情報発信手段を検討する。

### 成果と課題

成果	課題
杉の家の宿泊者数の増加や関係人口の増加などから一定の成果はあると考えます。	従来の方法以外での吉野材PRの方法を模索する。

### 方向性判断(コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
継続(同規模)	今後も吉野材PRにむけて、引き続き取り組みを進めていきます。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	生産性向上応援補助金事業	担当課室名	産業観光課
-------	--------------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
生産性向上応援補助金事業	予定	事業者に対し国や県等の他の支援策に町独自の上乗せをして補助金を支給
	実績	短い募集期間の中でも、30件程度の申請がありましたので、一定数の需要はあったと考えます。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
卸・小売業年間商品販売額	万円		-	-	-	345,000

### 住民への周知方法

計画	HP掲載、広報紙への折込により町内事業者への周知。また商工会と連携を行い、国・県補助金の対象者の漏れがないように調整	実施内容	HP掲載、広報の折込み、商工会への聞き取り
		課題	受付の締め切りが早いので、周知から申請締め切りまでの時間が比較的短い。

### 成果と課題

成果	課題
短い募集期間の中でも、30件程度の申請がありましたので、一定数の需要はあったと考えます。	原則、年度内に事業を完了させ、実績報告書を提出する手続きのため、どうしても受付の締め切りが早くなります。

### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	令和4年度で終了です。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	カヌー普及事業	担当課室名	生涯学習課
-------	---------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
カヌー普及事業	予定	津風呂湖カヌー競技場施設を活用するにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染予防設備等を設置
	実績	当施設利用者による新型コロナウイルス感染者数はゼロ

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
利用人数	人		350	-	-	-
			1,425			

### 住民への周知方法

計画	実施内容	実施内容
		HP・広報紙・SNS

### 成果と課題

成果	課題
・施設利用者からはコロナ感染者はゼロ ・手指消毒や換気の周知の徹底	カヌー競技場施設の利用について周知方法の再度確認

### 方向性判断 (コロナ臨時交付がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
継続 (同規模)	コロナ感染者数は減少傾向にあるが、季節的には増加の可能性があるため、手指消毒や換気などの周知は必要がある。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	教育振興総務事業	担当課室名	教育総務課
-------	----------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
吉野中学校修学旅行負担軽減事業	予定	コロナ禍で実施の修学旅行において、観光バス及び宿泊施設での生徒間の密を避け感染拡大対策のためにかかった経費に交付金を充てることで保護者負担軽減を図る
	実績	中学校の修学旅行における観光バス及び宿泊施設の新型コロナウイルス感染症対策による費用増加分を交付金を充当し、保護者の負担軽減を図った。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
保護者負担額増額分	円		0	-	-	-
			0			

#### 住民への周知方法

計画知	HP掲載、学校長より保護者向け説明会で周知	実施内容	学校長より、保護者向け説明会に周知
		課題	保護者説明会の実施

#### 成果と課題

成果	課題
感染症拡大軽減に係る費用に臨時交付金を充てることで、保護者負担額を例年通り60,000円で実施することができた	第5類移行後も、国の動向に注視していく必要がある

#### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	車賃・宿泊料などの価格高騰による旅行費の保護者負担増が見込まれる部分について、子育て世代の負担軽減を町の施策としてどうするか検証する必要がある

### 臨時交付金計画書記載事業②

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
吉野小学校修学旅行負担軽減事業	予定	コロナ禍において実施の修学旅行において、観光バス及び宿泊施設での生徒間の密を避け感染拡大対策のためにかかった経費に交付金を充てることで保護者負担軽減を図る
	実績	小学校の修学旅行における観光バス及び宿泊施設の新型コロナウイルス感染症対策による費用増加分を交付金を充当し、保護者の負担軽減を図った。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
保護者負担額増額分	円		0	-	-	-
			0			

#### 住民への周知方法

計画知	HP掲載、学校長より保護者向け説明会で周知	実施内容	学校長より、保護者向け説明会に周知
		課題	保護者説明会の実施

#### 成果と課題

成果	課題
感染症拡大軽減に係る費用に臨時交付金を充てることで、保護者負担額を例年通り35,000円で実施することができた	第5類移行後も、国の動向に注視していく必要がある

#### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	車賃・宿泊料などの価格高騰による旅行費の保護者負担増が見込まれる部分について、子育て世代の負担軽減を町の施策としてどうするか検証する必要がある

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	C A T V 運営事業	担当課室名	政策戦略課
-------	--------------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
C A T V 運営事業	予定	コロナ禍の状況で、講演会や集会・イベント開催など多数の参加者の密集を回避しながら、必要な行政情報を住民に伝えるために地域のケーブルテレビによる放送番組は有効な手段となっている。既存のテレビ中継設備を使いながら、ライブ配信や録画収録を少人数でより効率的に行えるよう、テレビ中継機能の強化を図るために放送設備を整備
	実績	差別をなくす町民集会をケーブルテレビの番組として放送。新庁舎設置場所に係る住民説明会をライブ中継で放送。歴史講演会全4回をシリーズで放送。阪本仙次顕彰会報告会の中継録画 他。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
講演会等の番組配信数	番組		10	-	-	-
			17			

### 住民への周知方法

計画	ケーブルテレビ・広報誌・SNS	実施内容	住民にとって必要な行政情報を伝える番組を放送する際は、ケーブルテレビ・広報誌・SNSで周知した。
		課題	より多くの住民に放送番組の情報を届けるためには、どのタイミングでどのツールを使って周知するかを精査する必要がある。

### 成果と課題

成果	課題
例年、町中央公民館大ホールで開催していた差別をなくす町民集会については、ケーブルテレビの番組として放送。また新庁舎設置場所に係る住民説明会では、ライブ中継を行い、会場を訪れなくてもリアルタイムで視聴できる環境をつくるなど、多数の参加者の密集を回避しながら、必要な行政情報を住民に伝えた。	住民にとって必要な行政情報を特別番組として放送することによって、担当職員の業務負担は増加する。また放送技術を持った職員の育成も必要である。

### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
継続 (同規模)	住民にとって必要な行政情報を伝えるために、ケーブルテレビは有効なツールであると考え。特に吉野町は平成8年からケーブルテレビを実施しており、住民にとってなじみの深いものとなっていると思われるため、同規模で継続していくことが望ましい。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	こども園管理総務事業	担当課室名	教育総務課
-------	------------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要
こども園管理総務事業	予定 新型コロナウイルスの影響から4月中旬以降で子供の感染が続き2日間学年閉鎖を余儀なくされた。ワクチン未接種であり、常時マスクの着用が難しい未就園児の安全安心を確保するため、2つのこども園に光触媒コーティングを実施
	実績 5月に両こども園の光触媒コーティングを完了することができた。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
クラスター発生件数	件	0	0	-	-	-
		0	0			

### 住民への周知方法

計画	実施内容	実施内容
		説明資料を配布
両認定こども園より全ての保護者に周知	課題	特になし

### 成果と課題

成果	課題
園児及び保護者の安心安全につながった。これまで室内の壁や備品、家具、机及び玩具の消毒を職員が対応してきたが作業の軽減が図れた。	特になし

### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	光触媒コーティング施工の効果については、10年以上の抗菌効果が実証されていることから、当分抗菌処理の必要性がないが、定期的にATP拭き取り検査を実施し、その効果を検証していく必要がある。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	学校保健給食事業	担当課室名	教育総務課
-------	----------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
学校保健給食事業	予定	コロナ禍による物価上昇により食材高騰の上昇も予測される。その影響を受け学校給食費負担増も余儀なくされる中、子育て世帯への負担軽減を目的とし学校給食費を無料とする
	実績	下半期において、吉野さくら学園小中学校の学校給食費の無償化を実施した

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
学校給食費無償化率(下半期)	%		100	-	-	-
			100			

### 住民への周知方法

計画	HPで周知し 保護者へ説明資料を配布	実施内容	説明資料を配布
		課題	住民及び保護者への事業実施前に周知を行っているため課題はない。

### 成果と課題

成果	課題
給食費を無償化(下半期分)することで、物価上昇による食材高騰の影響を受ける保護者に対し負担軽減を図ることができた。	引き続きの物価上昇に対応すべき、無償化も含めて給食費の精査が必要である。

### 方向性判断(コロナ臨時交付金がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	町の施策として検討する必要がある。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	デジタル化推進事業	担当課室名	総務課
-------	-----------	-------	-----

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
申請書オンライン化推進事業	予定	町民と職員双方のコロナ対策を一層向上させることを目的に、申請のオンライン化を庁内全体で実現させるため、庁内申請書の棚卸を行い、コロナ対策に効果的なオンライン化へ優先順位を決め、次年度以降のオンライン化の実現につなげる
	実績	庁内全体の申請手続きの棚卸しが完了した。調査結果のみでの判断ではあるが、優先順位の方向性は出すことができた。この調査結果を基に、次年度は組織全体で計画的にオンライン化を進めるステップに入りたい。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
申請書棚卸数	申請 様式		500	-	-	-
			1,698			

#### 住民への周知方法

計画	SNS、HP、広報誌、CATV	実施内容	調査結果がまとまったが、全庁的なオンライン化に向けた計画やスケジュールがたっており、R5度において申請オンライン化を開始する前に、当事業の結果や結果を踏まえた計画を周知していく。
		課題	周知した内容を理解してもらい、実際にオンライン申請を行ってもらえる比率を増加させることに課題を感じる

#### 成果と課題

成果	課題
庁内全体の画一的な申請手続きの調査が完了した。この調査結果を基に申請オンライン化を実施する方向性を確立させる優先順位や課題を整理することが可能となった。	当調査を有効に活用し組織的に申請オンライン化を進める体制が確立できていない。

#### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	当調査事業は完了。この調査結果を踏まえて、次のステップを着実に進めるよう務める。

### 臨時交付金計画書記載事業②

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
庁内L G W A N無線化事業	予定	職員のコロナ対策を一層向上させることを目的に、現在有線LANで構築しているネットワークを無線化し、職員の業務場所の拡大を図るとともに、事務の効率化を図る
	実績	庁内で無線でのLGWAN接続が可能となる機器等の仕組みが仕上がった。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
無線LAN化	系統		1	-	-	-
			1			

#### 住民への周知方法

計画	SNS、HP、広報誌、CATV	実施内容	当事業は、内部系のDX事業であり、この事業単体で周知することは効果が薄いと感じており、今後、町民向けのDXの取組みと併せて周知していきたい。
		課題	この取組みを周知するだけで終わらせることなく、職員の事務の効率化と併せて、町民の利便性向上につなげる仕組みも検討していきたい。

#### 成果と課題

成果	課題
セキュリティを担保し、従来の有線と無線でのLGWAN系ネットワークの利用が可能となった。	今後は、この無線の仕組みを活用し、事務の効率化を図れる仕組み等を検討し、ルール化する必要があると考える。

#### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	当事業は、完了。今後はこの仕組みを活用した業務の効率化を図る庁内の仕組み作りが必要である。



## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	デジタル化推進事業	担当課室名	長寿福祉課
-------	-----------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
スマホ決済コンビ二納付拡充事業	予定	コロナ対策をより一層推進することを目的に、現在スマホ決済・コンビ二納付対応している税・国保・水道に介護保険料・後期高齢者医療保険料・住宅使用料を追加しサービスの拡充を図る。また、町民の利便性と職員事務効率化も併せて向上させる
	実績	R5.3.10システム改修終了。R5.4月開始予定。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スマホ決済・コンビ二収納の使用率	%		+5 0	-	-	-

### 住民への周知方法

計画	対象者へ個別通知、SNS、HP、広報誌、CATV	実施内容	対象者へは、4月介護保険料仮徴収通知に納付書で納付する方向けに周知予定。広報誌はR5.5月又は6月号に後期高齢者医療等とともに周知掲載予定
		課題	旧の納付書ではコンビ二等に納付でないため、対象者が新旧混在して持たないように送付切替時期を検討

### 成果と課題

成果	課題
R5.4月からコンビ等の24時間全国一円納付体制が整った。	滞納者への納付書送付時、コンビ二納付可能期限があるために納期限の設定を工夫する検討が必要である。

### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	24時間全国一円納付体制が整ったことを十分生かし、滞納者の縮減を目指したい。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	デジタル化推進事業	担当課室名	町民税務課
-------	-----------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
スマホ決済コンビ二納付拡充事業	予定	コロナ対策をより一層推進することを目的に、現在スマホ決済・コンビ二納付対応している税・国保・水道に介護保険料・後期高齢者医療保険料・住宅使用料を追加しサービスの拡充を図る。また、町民の利便性と職員事務効率化も併せて向上させる
	実績	後期高齢者医療保険料・住宅使用料の納付書について、令和5年度分よりスマホ決済・コンビ二収納対応可能とするシステム改修を実施した

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
スマホ決済・コンビ二収納の使用率	%		+5 実績なし(5年度から)	-	-	-

### 住民への周知方法

計画	対象者へ個別通知、SNS、HP、広報誌、CATV	実施内容	広報誌・SNS・HPで周知
		課題	対象者が高齢者であることから、利用方法に関する周知を展開していく必要がある

### 成果と課題

成果	課題
納付の機会が増え、特に子育て世帯ではコンビ二納付が増加している。納期後納付であった世帯が納期内納付となり、収納率の向上にも貢献している。	高齢者は年金支給月に纏めて納付する傾向にある。そのため納期限を超えてしまい結局来庁し窓口納付となっている。

### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	スマホ決済・コンビ二収納の導入は、納付の機会の増加、住民の利便性から考えると良い事であった。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	木のまちプロジェクト推進事業	担当課室名	産業観光課
-------	----------------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業②

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要
木のまち吉野再構築推進事業	予定 地元製材業者で組織する吉野製材工業協同組合では、組合員の事業者から半製品の製材を仕入れ、製品市での競り売りを行っている。長引くコロナの影響により三密を避けるため、製品市での競り売りによる販売形態が非常に厳しい状況である。新規販売先の確保を目指し、仕上げ加工を行うことにより、付加価値販売を目指すとともに、新規市場開拓（工務店、設計施工事業者、DIYユーザー）を行うことで、吉野材の魅力再発見と事業再構築を進める
	実績 地元の製材業者で組織する吉野製材工業協同組合へ支援を行うことで、木材産業の活性化をはかった。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
新規事業売上高比率（11月決算）	%		-	-	-	-

### 住民への周知方法

計画	事業主体となる吉野製材工業協同組合が、HP・SNSを中心に周知	実施内容	吉野製材工業協同組合がHPやSNS等で周知を行う。
		課題	どこまでの情報発信ができているかを検討する。

### 成果と課題

成果	課題
地元の製材業者で組織する吉野製材工業協同組合へ支援を行うことで、木材産業の活性化をはかる。	今後、補助金の交付以外の支援でどのような支援ができるのか検討する必要がある。

### 方向性判断（コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性）

判定	コメント
完了	令和4年度で完了です。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	物価高騰等対策商品券交付事業	担当課室名	町民税務課
-------	----------------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要
物価高騰等対策商品券交付事業	予 定 コロナ禍での物価・原油価格高騰に直面する町民に対し共通商品券を給付する。本事業はあくまでも物価・原油価格上昇に対する生活支援に主眼を置いている為、町民の消費行動状況を考慮し、全国で利用できる共通商品券を配布
	実 績 コロナ禍での物価・原油価格高騰に直面する町民に対し共通商品券を給付する。本事業はあくまでも物価・原油価格上昇に対する生活支援に主眼を置いている為、町民の消費行動状況を考慮し、全国で利用できる共通商品券を配布

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
アンケートで「良かった」を回答した割合	%		80	-	-	-
			87			

### 住民への周知方法

計画	実施内容	実施内容
		課題

SNS・HP・広報誌・CATV

配布する前に、吉野町公式LINE、ホームページ、広報誌折り込み、文字ニュースで町民に事業の周知を図った。

媒体ごとに周知するタイミングをずらすことでより多くの町民に正確な情報を伝える必要がある。

### 成果と課題

成果	課題
本事業の目的である物価・原油価格高騰への生活支援は、全町民に交付することで一定の成果を上げることができた。	現金の方が良いという意見が多く見られたことから、今後同様の事業を実施するには検討が必要である。

### 方向性判断 (コロナ臨時交付がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	予算額からしても単費での実施は困難である。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	学童保育事業	担当課室名	教育総務課
-------	--------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
学童保育事業	予定	新型コロナウイルス感染症の児童・生徒での感染が相次ぐ状況の中、夏休みに入り、学童利用者は平時に比べ増加している。基本的な感染対策は実施しているものの、猛暑のため室内で過ごす子どもが多く、蜜となる機会が増えている。子ども達の安全安心及び保護者の不安を解消するため、施設内等の抗菌処理を施す。
	実績	8月に光触媒コーティングを各部屋に行うことができた。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
クラスター発生件数	件	0	0	-	-	-
		0	0			

### 住民への周知方法

計画	実施内容	実施内容
		説明資料を配布
学童クラブより全ての保護者に周知	課題	特になし

### 成果と課題

成果	課題
児童及び保護者の安心安全につながった。これまで室内の壁や備品、家具、机及び玩具の消毒を職員が対応してきたが作業の軽減が図れた。	特になし

### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
完了	光触媒コーティング施工の効果については、10年以上の抗菌効果が実証されていることから、当分抗菌処理の必要性がないが、定期的にATP拭き取り検査を実施し、その効果を検証していく必要がある。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	CATV運営事業	担当課室名	政策戦略課
-------	----------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業②

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
CATV感染対策機器整備事業	予定	町民への情報発信として重要なケーブルテレビであるが、スタジオ及び調整室（編集室）は窓がなく換気設備が十分ではない密閉空間となっている。コロナ禍においても情報発信基地として活用するに当たり感染予防機材設置は急務である。密閉空間となるスタジオ及び調整室での活用でウイルス飛沫拡散・感染対策を講じる
	実績	感染対策機器を導入し、コロナ対策も盤石な状態になった。導入後の職員におけるコロナ感染者数は0名・クラスター発生件数0件。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
クラスター発生件数	件		0	-	-	-
			0			

### 住民への周知方法

計画	実施内容	実施内容
		課題

SNS、HP

吉野町ホームページにて機器導入を告知

住民への告知方法として適切だったかを考慮し、今後ホームページで告知する必要があるものか・他の課でも同じようにコロナ臨時交付金を活用している場合、年度末にまとめて周知するなど周知方法を検討する必要がある。

### 成果と課題

成果	課題
機器を導入後コロナ感染職員数0人。マスク着用を徹底し感染対策を適切に行いながら業務にあたる事ができている。	マスク緩和から職員の意識低下が懸念。引き続き対面でのマスク着用等を意識的に行い感染対策を行っていく必要がある。

### 方向性判断（コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性）

判定	コメント
完了	感染対策機器を導入し、コロナ対策も盤石な状態になった。導入後の職員におけるコロナ感染者及びクラスター発生も皆無で、CATV感染対策機器整備事業としては完結。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	老人保護措置等事業	担当課室名	長寿福祉課
-------	-----------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要
老人保護措置等事業	予定 コロナ過での原油価格高騰による車両燃料費負担増に対し、介護サービス事業所に事業継続支援として、車両燃料費高騰相当額（1年分）を補助
	実績 吉野町福祉事業所等車両燃料費高騰対策支援金 9事業所916,000円

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
対象事業所・施設への支援率	%		100	-	-	-
			100			

### 住民への周知方法

計画	各事業所への通知連絡 HPIによる周知	実施内容	当該制度利用者入所施設に事業継続支援として、通知連絡済み
		課題	特になし

### 成果と課題

成果	課題
コロナ過での原油価格高騰による車両燃料費負担増に対し、当該制度利用者入所施設に事業継続支援として、車両燃料費高騰相当額（1年分）を補助	この状態がいつまで続くか現時点で見通しがたっていないこと。

### 方向性判断（コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性）

判定	コメント
完了	状況の終息がない場合は今後も実施検討

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	障害福祉総務事業	担当課室名	長寿福祉課
-------	----------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要
障害福祉総合事業	予 定 コロナ過での原油価格高騰による車両燃料費負担増に対し、障害サービス事業所に事業継続支援として、車両燃料費高騰相当額（1年分）を補助
	実 績 障がいサービス事業所は町内2カ所であるが、1カ所は利用者負担によりまかなっていることより非該当であるため、補助は1カ所のみである。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
対象事業所・施設への支援率	%	-	100	-	-	-
		-	100	-	-	-

### 住民への周知方法

計画	各事業所への通知連絡 HPによる周知	実施内容	事業所を個別訪問し、交付金について説明を行う。
		課題	制度説明は丁寧にする必要があるため事業所を個別訪問することとしたため、時間がかかった。

### 成果と課題

成果	課題
ガソリン代高騰による事業所経営への経済的圧迫軽減の一助となったと思われる。	町内の事業所の存続のため、交付金等の事業所への補助については引き続きしっかりと情報を得る必要がある。

### 方向性判断（コロナ臨時交付金がないケースも含めた必要性・方向性）

判定	コメント
完了	コロナ対策に係る臨時交付金であり、令和4年度のみの実施であるため今年度で完了。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	地域公共交通活性化事業	担当課室名	協働のまち推進課
-------	-------------	-------	----------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
デジタル田園都市国家構想推進交付金	予定	コロナウイルス感染対策としてオンデマンドバス交通システムを活用し、利用者の要望に応じて運行ルートやダイヤを設定、小型車両での乗合運行が可能となり、密を避けつつ住民サービス向上を図る為に迅速に実装する。また地域外の利用者に対しても二次交通の利便性向上を同時に図る。
	実績	オンデマンドバス交通システムを活用した交通体系を整備することができた。町民の移動手段をメインに考えながら、観光客など町外の方も利用が出来るように調整した。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
延べ利用者数	人		18,000	-	-	-
			22,707			

### 住民への周知方法

計画	実施内容	実施内容
		課題

### 成果と課題

成果	課題
R3.6の実証試験から約2年が経過し、オンデマンド交通システムがかなり定着してきたように思われる。小型車で運行することにより町内をくまなく運行することが出来るため満足度は高いと思われる。	体が不自由なので家の前で乗降したいというような福祉的な要望、観光二次交通として利用したいという要望が常にあるが、地域公共交通の枠組の中で考えるのは困難である。

### 方向性判断 (コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
継続 (同規模)	当町のような高齢者の多い中山間地域では移動手段の確保というのは非常に重要性の高い施策である。限りある予算の中で、いかに効果的で効率的に運行するかを考えながら交通体系を維持継続する。



## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	予防接種事業	担当課室名	長寿福祉課
-------	--------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
疾病予防対策事業費等補助金	予定	コロナ禍においても適切に対象者（昭和37年度～昭和53年度生まれ男性）に風しん抗体検査を実施し、必要に応じて予防接種を行う。
	実績	令和4年度は452名へ個別通知を送付した。また広報等で風しん抗体検査の周知を実施している。受験者数は計20名(内接種者6名)であった。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
抗体検査受診率	%	20	15	-	-	-
		11	10			

### 住民への周知方法

計画	実施内容	実施内容
		課題

SNS・HP・広報誌

対象の方に個別に案内を送付している。受検しやすいように病院での検査の他に集団健診での場を設けている。また、健康カレンダーや広報での周知も実施している。

対象者へ個別の通知や広報等の周知を実施しているもの受験者数は例年とほぼ変わらない。対象者の風しんへの意識不足により疾病への関心が低いのではないかと考えられる。

### 成果と課題

成果	課題
集団健診では10名、個別受検では15名であった。健診でお話を伺うと、「前のことで全然分からない、でもリスクがあるからと気になって受けた。」という声が聞かれた。通知や周知を行うことで風しんへの関心に繋がっていると考えられる。	毎年10%の受検率でありまだまだ周知に課題が残る。

### 方向性判断（コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性）

判定	コメント
継続（同規模）	事業は令和6年度まで延長することとなっている。引き続き個別での通知、周知を実施し、対象者の受検率向上を図る。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	市町村母子保健事業	担当課室名	長寿福祉課
-------	-----------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
地域少子化対策重点推進交付金	予定	H29.12より母子健康手帳アプリを利用し、子育て世帯に対し支援・事業を実施しているが、コロナ禍においても利用者満足度向上を図る為、多言語化・子育て情報をはじめ、予防接種スケジュール自動作成・管理及び月齢に応じた情報発信等を実施し、支援情報配信力を強化する。
	実績	登録者数46名。現在利用者満足アンケート実施中。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
システム利用満足度	%		70	-	-	-
			70			

### 住民への周知方法

計画	対象者へ個別案内 HP・広報誌・健康づくりカレンダー	実施内容	HP、広報誌、前アプリ内での周知。妊娠届出時や乳幼児健診時にチラシを配布。
		課題	周知内容・方法を随時見直し、今後も周知を継続していく。

### 成果と課題

成果	課題
登録者数46名。システム利用満足度70%。	登録者数が伸び悩んでいる。

### 方向性判断 (コロナ臨時交付がないケースも含めた必要性・方向性)

判定	コメント
継続 (同規模)	現在実施している利用者満足度アンケートの回答結果を分析し、実施内容等を見直し、充実させていく。

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	吉野小学校事業	担当課室名	教育総務課
-------	---------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要	
学校保健特別対策事業費補助金	予 定	吉野さくら学園（吉野小・中学校）で新型コロナウイルス感染症感染が疑われる症状が発生した場合等に抗原検査キットを使用し、検査体制を強化することで感染者を早期に把握し集団クラスターの発生を防止、教育体制維持を図る。
	実 績	吉野さくら学園（吉野小・中学校）で新型コロナウイルス感染症感染が疑われる症状が発生した場合等に抗原検査キットを使用し、検査体制を強化することで感染者を早期に把握し集団クラスターの発生を防止、教育体制維持を図る。

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
クラスター発生件数	件		0	-	-	-
			0			

### 住民への周知方法

計画	実施内容	実施内容
		課題

SNS・HPによる周知

子どもたちの長期の休暇明けにおける抗原検査キットによる安全の確保等において保護者に周知を行う。

子どもたちの長期の休暇明けにおける抗原検査キットによる安全の確保等において保護者に周知を行った。

### 成果と課題

成果	課題
クラスターの発生もなく、安全安心な学校運営を実践できた。	次年度以降において、コロナ臨時交付金が充当できない場合の対応

### 方向性判断（コロナ臨時交付がないケースも含めた必要性・方向性）

判定	コメント
継続（縮小）	コロナウイルス感染症の減少傾向に伴い、対策等を縮小していく

## 7 コロナ臨時交付金の充当事業部分の評価 <Check>

事務事業名	吉野広域行政組合民生費負担金	担当課室名	長寿福祉課
-------	----------------	-------	-------

### 臨時交付金計画書記載事業①

臨時交付金計画書記載事業名	事務概要
介護サービス事業所・施設における光熱費等高騰対策一時支援事業	予定 新型コロナウイルス感染症による光熱費・燃料費等高騰の影響を受けている介護サービス事業所・施設が継続的・安定的にサービスを提供できるよう支援する。
	実績 介護保険事業者物価高騰対策支援事業補助金 光熱費支援事業874,500円 + 車両燃料費支援事業121,000円 = 995,500円

KPI (上段:目標、下段:実績)

指標名	単位	R3	R4	R5	R6	R7
対象事業所・施設への支援率	%		100	-	-	-
			100			

### 住民への周知方法

計画	吉野広域行政組合及び 吉野町HPIによる周知	実施内容	対象である吉野広域行政組合へ事業内容周知
		課題	吉野広域行政組合の構成団体との負担割合調整

### 成果と課題

成果	課題
コロナ過での原油価格高騰による車両燃料費負担増に対し、事業継続支援として、車両燃料費高騰相当額（1年分）を補助	この状態がいつまで続くか現時点で見通しがたっていないこと。

### 方向性判断（コロナ臨交がないケースも含めた必要性・方向性）

判定	コメント
完了	状況の終息がない場合は今後も実施検討